



2011~2012年度 テーマ

Reach Within to Embrace Humanity

— ころろの中を見つめよう 博愛を広げるために —

2011~2012年度 R.I.会長

カルヤン・バネルジー (インド・バピRC)

SASEBO WEEKLY

R.I. D.2740 JAPAN
佐世保ロータリークラブ

会 長・梅村 良輔 幹 事・田中丸善弥

事務所・佐世保市島瀬町10-12 親和銀行本店内

TEL 0956-22-7720 FAX 0956-25-6323

例会場・佐世保玉屋8階 (毎週水曜日)

TEL 0956-23-8181

<http://www.sasebo-rc.jp/>

E-mail:src@circus.ocn.ne.jp

平成 23 年 9 月 7 日

第 2,994 回例会

NO 10

《本 日》会員数 74名 (出席免除会員 25名)・出席 52名・免除者欠席 13名・欠席 9名・ビジター 0名 ・出席率 70.27%

《前々回》会員数 74名 (出席免除会員 25名)・出席 54名・免除者欠席 9名・欠席 11名・メイクアップ 11名・修正出席率 100.00%

会 長 挨拶

会長 梅村 良輔さん

台風12号の記録的豪雨により紀伊半島を中心として各地に被害が拡大しております。被災されました方々には心からお見舞い申しあげます。



2日、野田内閣が発足いたしました。震災復興、原発事故の収束を最優先に、山積している諸問題に対しスピーディーに対処してもらいたいものです。

3日(土)に、「国際奉仕・ロータリー財団セミナー」が開催されました。地区委員の玉野さん、国際奉仕委員長の福田さん、田中丸幹事、梅村の4名で参加いたしました。「世界でよいことをしよう」「Doing good in the world」の標語のもと活動していこうとのことです。

但し、ロータリー財団が大きな転換期を迎えようとしています。それは、2013-14年度から導入される「未来の夢計画」です。2010-11年度より全世界で100パイロット地区(日本で6地区)がスタートしております。詳細は「未来の夢計画」ハンドブックを頂いておりますので、ご参照ください。

田中丸幹事がサンディエゴから帰国されました。ラホヤRCへ「第3000回記念例会」の招聘に行かれましたので、後程ご報告をお願い致します。

本日、理事会を開催致しましたので、ご報告申しあげます。

①新会員候補者入会の件

東京海上日動火災保険(株)佐世保支社長 目黒誠之さん、入会後は出席・例会委員会へ配属の予定です。

②第3000回記念例会の件

招待者：第2740地区ガバナー、第5・6グループガバナー補佐、地区幹事、名誉会員、第5・6グループ各クラブ会長・幹事
他 参加希望者の方は会費1万円徴収させていただきます。

③IMに関して

第5・6グループ共催(ホストクラブ：佐世保中央RC)で、2012年1月28日(土) 12:00～開催されます。

例 会 記 録

○国歌「君が代」

○ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」

○卓話者

平戸市役所 国際交流員
フロライク レムコー様

幹 事 報 告

幹事 田中丸善弥さん

1. 第2740地区ガバナー事務所

地区ホームページ更新のお知らせ
9月1日、5日です。

2. 第5グループガバナー補佐 山本 浩平さん

公式訪問のお礼状が届きました。

3. ロータリー-囲碁同好会 (GPFR) 日本支部
 名誉会長 田中 毅さん
 (2680地区PDG)
 会長 石井 良昌さん
 (2680地区PDG)
 日本支部長 新藤 信之さん
 (2750地区PDG)

「第10回ロータリー全国囲碁大会」ご案内

日時/2011年10月22日(土)

9:30 登録受付 10:00 開会式

17:00 表彰式

会場/日本棋院会館 1階 対局場にて
 (東京・市ヶ谷)

ホスト/東京ロータリークラブ

登録料/7,000円 (昼食代、賞品等含む)

4. 提唱 鹿島ロータリークラブ
 会長 中尾 廣次さん
 鹿島ローターアクトクラブ
 会長 山崎 和良さん

公式訪問例会のご案内

日時/2011年9月21日(水) 20:00~

場所/鹿島商工会議所にて

登録料/1,000円

締め切り/9月14日(水)

委員会報告

- 国際奉仕委員長 福田 金治さん
 国際奉仕・ロータリー財団セミナー報告

平成23年9月3日(土)、長崎新聞文化ホールにて開催されました、国際奉仕・ロータリー財団セミナーに、地区委員の玉野さん、会長・幹事と私が出席してまいりました。



セミナーの内容について報告いたします。

第2750地区ロータリー財団副委員長の基調講演に続き、パネルディスカッションが行われました。講師及び地区ロータリー財団委員長の説明では、ロータリー財団は、2013-14年より、補助金システムを中心にプログラムと運営等の大幅な改正が行われるそうです。まだ正式の通知はクラブに来ておりませんので、通知が来ましたら詳しく皆様へお知らせいたします。

基調講演の講師が、ロータリーは「奉仕」が一番重要で、「親睦」はあまり必要ないとい

うことを話されましたが、セミナーという公式の場所で、個人的考えを話されるのはいかなものかと感じました。

これでセミナーの報告とさせていただきます。

- 親睦活動委員会 委員長 円田 浩司さん
 観月例会のご案内

日時/9月14日(水) 18:30~

場所/富士国際ホテル



朗遊会より

松尾 文隆さん

「第2回朗遊会」開催のご案内

日時/平成23年10月15日 (土)

スタート10:00~11:00の予定

場所/佐世保カントリークラブ

参加費/2,000円

その他の報告

幹事 田中丸善弥さん

ラホヤRC訪問報告

8月23日(火)、例会に出席して参りました。佐世保RCの第3000回例会(10月22日)への出席のお願いをして参りました。

ご多分にもれず、米国の景気も芳しくないようでしたが、飛行機は満席、会員の方もギリシャ旅行やアカプルコに家族でご子息の卒業祝いの旅行に行く等のお話でした。

現在、会員は100名位(当日出席40余名)です。今年度会長 ロン ジョーンズさんのご職業はDJだそうです。やはり会員が増えないところに苦心されておられ、会員増強に力を入れてゆきたい旨お話しされていました。



ロータリー3分間情報

クラブ会報委員 佐藤 文治さん

「ロータリーの友(9月号)を読んで」

前回(4月)は、“ポリオ撲滅”のインタビュー記事についてお話させていただきましたが、今回は、“Eクラブ設立”に関する記事についてのお話をさせていただきます。



Eクラブとは、インターネット、ウェブサイトといった電子的通信手段を通して会員が活動するクラブで、2001年6月よりその可能性を検証するため、試験的プロジェクトとしてスタートしてから約10年をかけて検討し、先程の2010年規程審議会(RIの立法機関)での採決を受け、国際ロータリー組織の一つとしてスタートしたもので、世界で約30クラブ、日本でも、関西地区で2つのクラブが創立され、会員募集が始められています。

そのような中、日本ではこのEクラブに対して未だに根強い反対もあるようで、インターネット上のやり取りでロータリーにおける真の友情が生まれるのかどうかを疑問視されています。日本では、古来より“寄り合い”の中で、相手の表情や感情、場の空気にも配慮しつつ物事を決めてきた習慣があり、そうした積み重ねが各種コミュニティの結束、成長・発展にも通じたものと考えられます。

一方、ロータリーの日本の会員数は、1996年11月の約13万人をピークに、減少傾向を辿り、今や9万人を割り込む状況で、RI会長も当月号のメッセージで、私たち自身が、若い人たちの居場所でもある、インターネット、フェイスブック、ツイッター、Eメール、スマートフォン上に歩み寄り、私たちの組織に新しい生命や活力を吹き込む、より若い会員を連れてくる必要性が訴えられています。

ネット上の世界は、時間と場所の制約も受けず、活字やデータで自由にやり取りできる空間ですが、それゆえ、会員のモラル・見識が一層求められることにもなると思います。そこに、ロータリーの原点である「奉仕の理念」が確実に浸透され、情熱ある活動が展開されていくとともに、時には会合による会員相互間の親睦が深められていくことを期待し、本日の3分間スピーチとさせていただきます。

ニコニコボックス

親睦活動委員会 坂本 敏さん

梅村 良輔 会長、米倉洋一郎 副会長
田中丸善弥 幹事、芹野 隆英 副幹事
福田 金治さん、鬼木 和夫さん
才木 邦夫さん

平戸市 国際交流員のフロライク レムコーさんの卓話を歓迎しまして、ニコニコします。

安福鴻之助さん

数日前の夜、世界陸上をテレビで見ているら、大きな蛾がずっと画面を横切りました。あれっと良く見るとなんと「こうもり」。電気を消したり、点けたり、うちわで追っても外に出ません。考えたあげく、広口のジャムの空き瓶を利用して、天井に止まったところを捕獲、外に離してやりました。時々、庭を飛んでいます、小さくて可愛らしかったです。

◇

ニコニコボックス	本日合計	8,000円
	累計	222,000円

卓話

『平戸とオランダの交流を語る 平戸オランダ商館』

平戸市役所 国際交流員
フロライク レムコー 様



- 1630年～日蘭貿易が栄える
1630年代 取引額は年々増加していく。
平戸の8,000人の人口の内に外国人が2,000人もいたと言われています。
オランダ商館の施設もどんどん増えていく時代です。
- 1639年 大規模の石造倉庫が建設される
年間12隻ものオランダ船が来航
※この時期、日蘭貿易が最高潮に達する。
他の倉庫と建物がたくさんありましたが、日本人にはその時まで見たことなかった、素晴らしい西洋建物でした。

○1640年 幕府の命令で1639年築造倉庫が壊される

1640年11月9日、將軍徳川家光の命を受けた大目付 井上政重により、1639年建造の倉庫にキリスト生誕にちなむ西暦の年号が示されているとして、当時の禁教令の下、全ての建物の破壊が命じられました。

○1641年 平戸オランダ商館は出島に移転

1641年5月には、他の建物への取り壊し命令、商館は長崎出島へ移転。これによって、33年間の平戸オランダ商館の歴史に幕が下ろされました。

●平戸オランダ商館復元事業

【調査】復元の検討

1639年築造倉庫の復元については、発掘調査、文献資料、絵図類、類例建物などを検討しながら進めました。ただし、かなり限られた史料しかなく、そのため復元設計の検討には長い時間を要しました。

検討に際しては、建築史、考古学、歴史学などの専門家をはじめ、オランダの専門家にも協力をいただきました。

【復元】オランダ式着工

2008年10月より復元工事に着工、2009年4月18日にオランダ風の石積み式を行いました。

【2万1千個の砂岩石】

ひとつひとつの石は長さ60センチ・幅30センチ・厚さ15センチの大きさで、重さが約60キロ弱あります。この石を約2万1千個つかって建てられています。ただし、この石の表には漆喰が塗られるため、一部を除いて見る事はできません。

【巨大な柱】

中央に並んだ柱。1辺48cm角のサイズの柱(木材)が、1階に11本、2階に10本が立ち並んでいます。そのほかの木材についても大きな材料が使われており、床板の厚さは7cmもあります。

【日本式の屋根裏】

外観などはオランダの建築様式の強い建物ですが、屋根については、日本の建築技術によって建てられたと思われます(日本の瓦しか出土していない)。そのため、屋根を支える小屋組みは、日本式の入り組んだ構造となっています。

【巻き上げ機】

1639年築造倉庫には、荷物を2階へ運び上げるための「巻上機」が2基ついています。オランダの昔の倉庫には普通についていたようですが、日本では大変珍しいもので、復元施設の大きな特徴のひとつです。

【再び平戸オランダ商館の姿が…】

今年の7月中旬から、工事のため施設を覆っていた覆屋等の解体作業が始まり、復元倉庫が少しずつ姿を現してきました。

復元建物そのものは、ほぼ完成しつつあります。これからは建物周りの敷地の整備工事や内部の展示関係の工事を行い、2011年9月20日(平戸に商館が設置された日)の開館を予定しています。



* 次回例会予告 *

次回例会予告

観月例会 18:30～ 富士国際ホテル(屋上)にて

(今週の担当: 佐藤 丈治)

(カメラ担当: 大野 高広)

クラブ会報委員会

委員長 中村 徳裕
副委員長 有蘭 良太

委員 松本 由昭・大野 高広
久富 洋一・佐藤 丈治